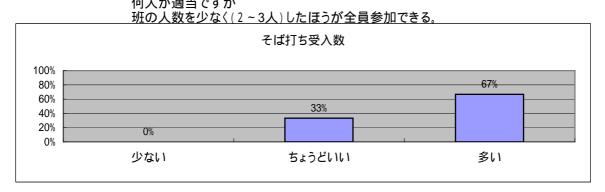
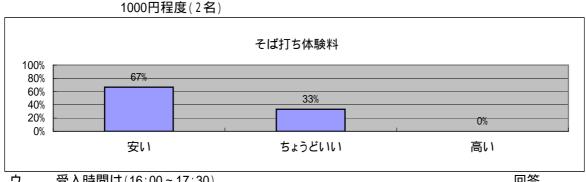
秋ツアーアンケート結果

(1)そば打ち体験について

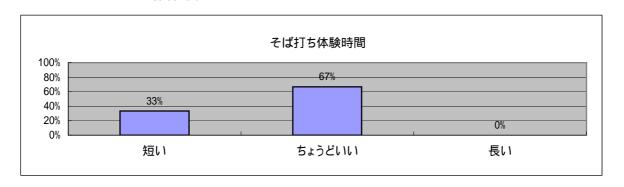
ア	受入人数は(45名受入)	回答	3
	少ない	0%	0
	ちょうどいい	33%	1
	多门	67%	2
	何人が適当ですか		



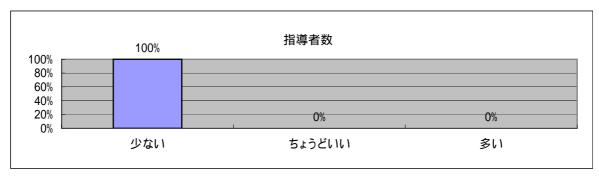
1	体験に係る受入料は(800円)	回答	3
	安い	67%	2
	ちょうどいい	33%	1
	高い	0%	0
	いくら位が適当か		



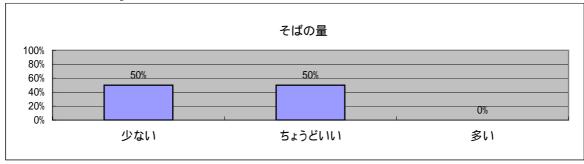












力 その他お気づきのことがあれば記入下さい。

(2)田んぼ体験について

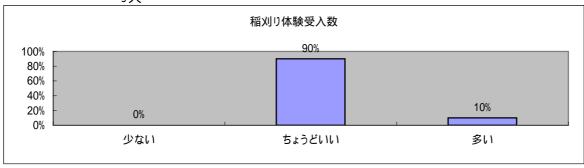
受入数

中西たんぽ体験	14
17名の予定だったが、参加者の都合で3名減	
美米倶楽部	12
よごえむ(浅野)	6
げんじろう(舩山)	6
またじろう(五十嵐)	7

ァ 受入人数は

回答 10 少ない 0% 0 ちょうどいい 90% 9 多い 10%

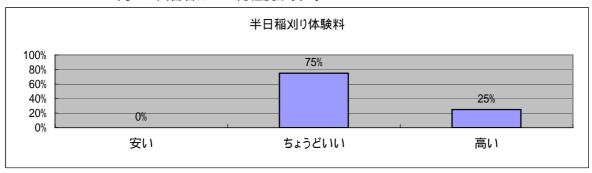
と答えた人は何人が適当ですか



体験に係る受入料は(半日2,500円) 1

1

安い0%0ちょうどいい75%6高い25%2いくら位が適当か2000高いの回答者は2000円程度が良い。0



体験に係る受入料は(一日3,500円) 回答 5 安い 20% 1 5ょうどいい 60% 3 高い 20% 1 いくら位が適当か 5 0 0 0 円程度 1名 2 5 0 0 円程度 1名

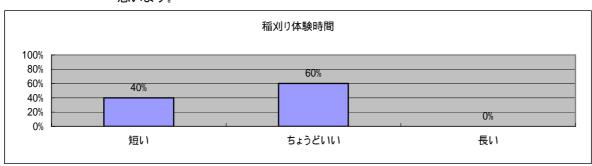
もう少し高くてもいいかと思いますが、参加者側から見るとこの辺が値頃感があるのかなとも思う。



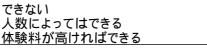
ウ受入時間は回答10短い40%4ちょうどいい60%6長い0%0何時間が適当か

・8時間が適当の回答者2名

・農作業の内容や天候にも時間の設定は左右される気がする。 今回の稲刈り体験は午前の作業はあっと言うまに終わり昼食と 団欒で解散となりました。もう少し稲刈りを楽しんでもらえればと 思います。



82







オ その他お気づきのことがあれば記入下さい。

半日では受け入れ側の意図が伝わらない。 体験の意味がない。

当日になって参加人数が変更になるのは多少きつい。

体験については、ある程度融通できる自信もでてきているし、実際できますが、

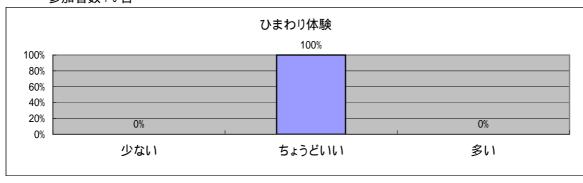
収支バランスに影響が出てくる。(今回は多少なりとも賃金を捻出したいと考えていたため。)

幸い天候が良かったので安心しましたが、雨天の場合を考えるとこれといった仕事がなく不安で あった。

受入側の構のつながりを持たせた方が良いのでは、午前中に稲刈り以外を行い、午後から稲刈りを行い終了後疲れをとるために風呂に入る。 各個人の家庭で受入する場合は、受け入れ側の指導や説明を早めにあればと思います。特に稲 刈り体験は天候との勝負で農家は必死でいる時なので、楽しく遊んであげるには人数の問題や 作業時間などいろいろ検討する必要があるのかなと思います。

(3)ひまわりの種の油絞りについて

参加者数10名



ア	受入人数は 少ない ちょうどいい 多い 何人が適当ですか	回答 0% 100% 0%	2 0 2 0
1	受入時間は 短い ちょうどいい 長い 何時間が適当か	回答 0% 100% 0%	2 0 2 0
ウ	体験に係る受入料は(1,000円) 安い ちょうどいい 高い にいくら位が適当か	回答 0% 100% 0%	2 0 2 0

I	指導者数は	回答	2
	少ない	0%	0
	ちょうどいい	100%	2

多い 何人が適当ですか 0% 0

オ その他お気づきのことがあれば記入下さい。

ひまわり油を実際に使用して調理できてよかった。(喜んでもらえた。)

(4)里いも掘り体験について

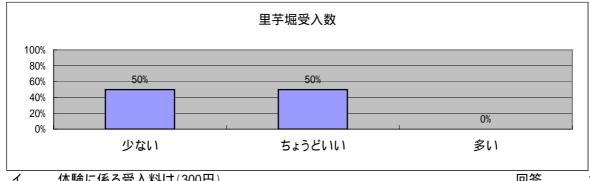
受入人数3名

雨天時のメニューだったが案内のメニューからもれていた為 急遽案内し受け入れした。

ァ 受入人数は

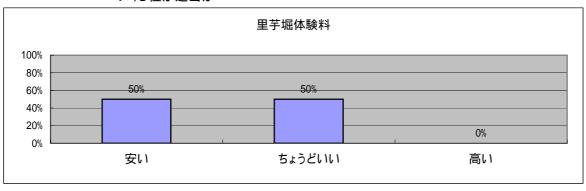
少ない ちょうどいい 多い 何人が適当ですか 10人程度

回答 2 50% 1 50% 1 0% 0



1 体験に係る受入料は(300円)

安い ちょうどいい 高い いくら位が適当か 回答 2 50% 1 50% 1 0% 0



ゥ 指導者数は

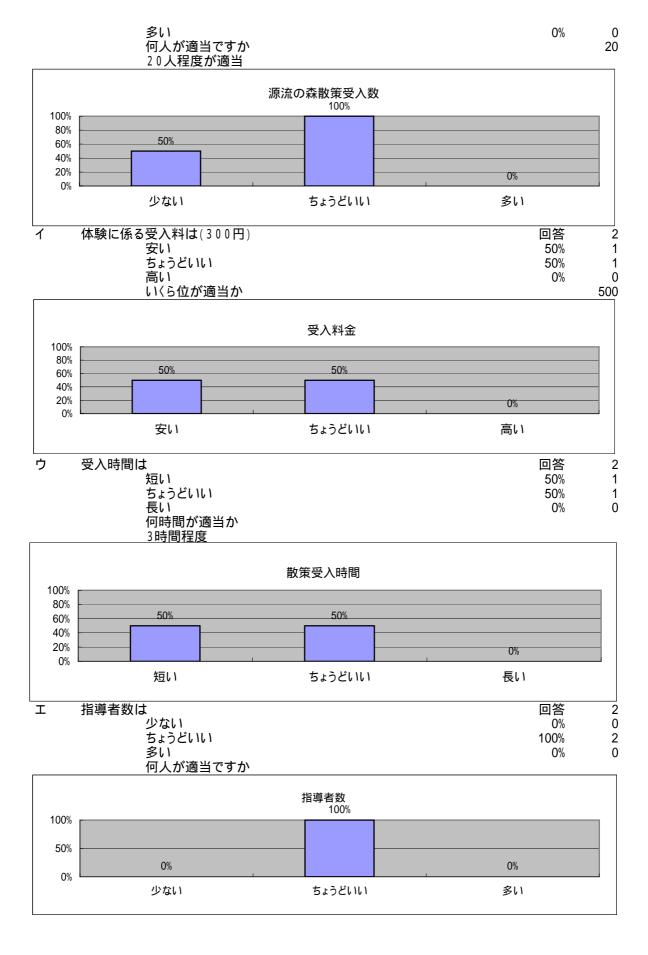
少ない ちょうどいい 多い 何人が適当ですか 回答 2 0% 0 100% 2 0% 0



(5)杜の散策について

受入人数 9名 ァ 受入人数は 少ない ちょうどいい

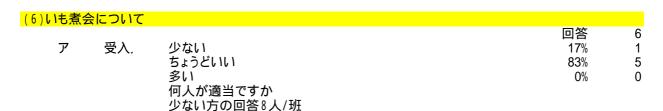
回答 2 50% 1 100% 1

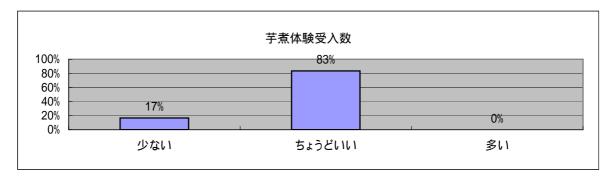


オ その他お気づきのことがあれば記入下さい。

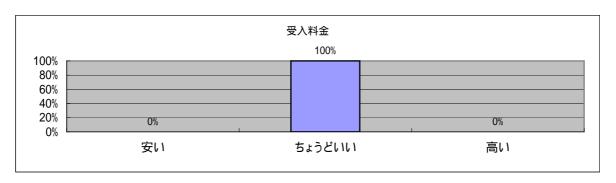
源流の森内では標準のモデルコースであったが、都会からのイメージとギャップがあったようだ。 , 初級と中級位に分けられればよかった。

¹ 翌日のいも煮へつなげられたことは、考え方としては悪〈なかった。

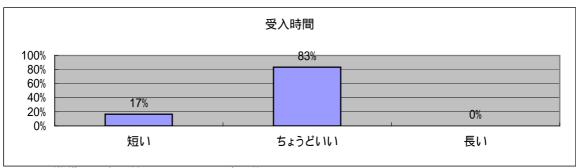




イ体験に係る受入料は(1,500円)回答6安い0%0ちょうどいい100%6高い0%0いくら位が適当か







1 準備から食べ終わるまで3~4時間位は必要と思う

エ	指導者数は	回答	6
	少ない	0%	0
	ちょうどいい	100%	6

回答

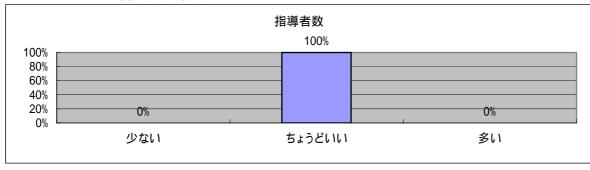
100%

0%

5

5

0



オ 場所は 白川グランドでよかった 他の場所の方がよかった とお答えの方は具体的な場所について



- 力 その他お気づきのことがあれば記入下さい。
 - 1 時間が11時では早いのではないか。11時30分~12時〈らいで昼食がベストではないか。
 - 28日の芋掘りは嵐となりできなくて残念だったと思いましたが、10日は天気も 最高となり、

いも煮の準備も釜を作ったり火を焚いたりと皆さんとても楽しそうにしていま した。 (鍋ごとに味を見て廻って甘いとか塩からいとか)

各なべ同じ味ではなかった様子でしたがそれがまたたのしいかも)

- 3 いも煮以外の御馳走もあり、量が多かったような気がしました。 4 もし、準備に問題がなければ天気のいい日は河原か源流の森等も楽しいのではないかと思う。
- 5 天候もよく指導者も慣れて、打合せもしっかりしたので最高でした。 いも煮の歴史や民話などもしっかり聞いてくれたし、いも煮もおいしかったし、 やっぱり天気と準備だということがわかりました。

(7)交流会	について			
ア	場所は	白川荘でよかった 他の場所の方がよかった とお答えの方は具体的な場所について	回答 100% 0%	9 9 0 0
1	時間は	短い ちょうどいい 長い 何時間が適当か	回答 0% 100% 0%	9 0 9 0

- 1人との交流が少しとれかけてきている。
- 2 交流ができる。
- 3 体験の時間だけでは一人ひとりと話をすることは難しいためこの時間を利用していろいろ話をする のに貴重だと思う。
- 4 希望者のみにしてはどうか
- 5 懇親を深めることこそ最大の目的であり、次回への足がかりになる。
- 6 おいでいただいた皆さんと一同に介した親睦を図ることは、ふれあいや受入側の意識の 高揚にもつながるのではと思います。
- エ その他お気づきのことがあれば記入下さい。
 - 1 山菜づくしでおもしろみがないようだった。
 - 2 畑のきゅうりを採ってまるかじりし、「なんでこんなに甘いんだ」なんて言われると、なんでも教えてあげたいと思うし、とてもうれしい。
 - 3 子供が牛舎にきて、牛に触って「あったかいんだね。」なんて言われると、農業にはいろいろな魅力があってまだまだ捨てたもんではないなと感じた。
 - 4 これまでの焼肉だと肉を焼くことばかりに気をとられたので、今回の交流会は落ち着いてよかったと思う。(子供の対応は別に検討必要か)
 - 5 白川荘も料理に愛情が感じられ、もてなしの感じがした。

(8) 今までにお気づきのことがあれば記入下さい

- 1 稲作りを通してもっと米を理解してもらいたかったし、飯豊の米をもっと知ってほしかった。その時間をもっとほしかった。
- 2 グリーンツーリズムとはいったいなんなんだ。
- 3 私たちはいろんな人の助けを借りて頑張ってきたが、その意味とはいったいなんなんだ。
- 4 グリーンツーリズム本来の農村や農業について深〈体験したり、肌で触れるといった姿とは違った方向に行っているような気がする。目的をどこに定めるのか、受け入れ側、参加側両方が共有した認識が必要なのではないか。(意識の隔たりがあるように思う)折角の機会が旅行会社の果物もぎ取りツアーのようにならないために。
- 5 今回は連携を意識して練習も行ったので努力は認めてほしい。
- 6 顔と顔が見えてきたので、これからが互いの気持ちを開いていけるのだろう。
- 7 来年も来てもらいたい。そして、飯豊のすばらしいいろんなところへ少人数で連れて行ってあげた
- 83回の受入で共通することは、参加者と受入側との距離感が大きい。参加者側は会社の業務命令を受けての参加であり、受入側は役場からの要請で動いている、という姿が見られた。
- 9 補助金の動きの透明性が無い。事前に総体的な話を聞いていることから、これまで3回実施した 内容との整合性を理解できない。
- 10 具体的には、参加者負担で不足する宿泊費等のバックアップがあれば、ある程度内容の充実も図られ、参加者の満足度も少しは改善されるとともに、宿泊施設の収益確保も図られる。